



suitable city
スイタブルシティ

吹田市の特徴

暮らしにおける多くの面で水準が高く充実していることが吹田市の特徴であり、それぞれの強みをさらに伸ばす取組が重要となります。

吹田市の強み

人口	平成7年(1995年)以降増加を続けており、周辺市と比べても増加率が高い。
交通	JR、阪急電鉄、北大阪急行、大阪モノレールといった多くの鉄道が敷設され、3つの高速道路が吹田ジャンクションで結節されており、交通の利便性は高い。
住環境	千里ニュータウンに代表されるみどり豊かで住環境のよい住宅地が広く分布しており、周辺環境と調和した良好な景観や美しいまちなみが多い。
学び	大阪大学、大阪学院大学、関西大学、千里金蘭大学、大和大学、国立民族学博物館の5大学1研究機関が立地しており、図書館も市内9か所に設置されている。
観光 スポーツ 文化	万博記念公園南側エリアに大型複合商業施設「EXPOCITY」が開業。さらにプロサッカーチーム「ガンバ大阪」のホームスタジアム「市立吹田サッカースタジアム」も存在。また芸術・歴史文化に触れることができる多くの文化財・施設も存在する。
健康 医療	国立循環器病研究センターをはじめ、多くの高度医療機関が立地している。さらに「北大阪健康医療都市(健都)」の整備も進められている。
産業	多くの事業所が立地しており、周辺自治体からの通勤者の流入が多く、さらに全国的にも開業率の高い都市である。
コミュニティ	市民公益活動センター(ラコルタ)をはじめ、コミュニティ施設が広域に設置され、コミュニティ醸成拠点として機能している。また、吹田まつりや太鼓神輿やだんじりなど、伝統的なお祭りやイベントが各地域で盛んに実施されている。
その他	なにわの伝統野菜の一つ「吹田くわい」は京都御所へ献上されていた歴史があり、現在も特産品の一つとして市内で栽培されている。また、「吹田くわい」をモチーフにしたイメージキャラクター「すいたん」は多くの市民から愛されている。



千里ニュータウン



千里南公園



関西大学



吹田市文化会館(メイシアター)

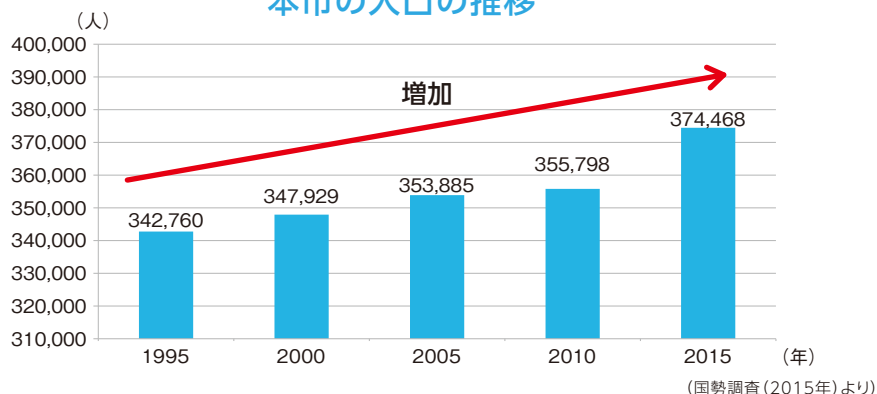


大和大学



旧西尾家住宅

本市の人口の推移



本市の都市イメージ (吹田市民1,200人が回答)

緑豊かな公園や緑地のあるまち	60.5%
公共交通の便がよいまち	48.6%
医療機関が充実する医療のまち	27.3%
大学や研究施設が充実している学びの環境が整っているまち	26.4%
子育てしやすいまち	26.2%

※回答割合の高い順に上位5位まで

(吹田市シティプロモーションビジョン策定に係るインターネットアンケート調査(2016年11月)より)



千里金蘭大学



三色彩道



大阪大学



国立民族学博物館



万博記念公園



EXPOCITY



©GAMBA OSAKA

市立吹田サッカースタジアム



吹田市立博物館



アサヒビール吹田工場



浜屋敷



大阪学院大学



旧中西家住宅

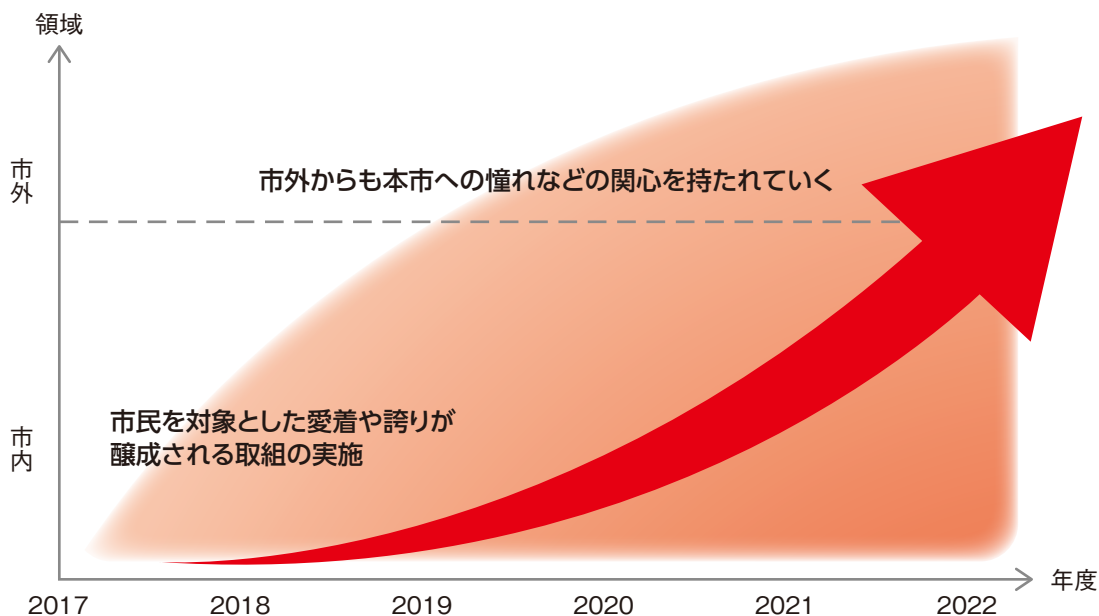
吹田市シティプロモーションビジョンの考え方

全市民を対象としたビジョン

本市が取り組むシティプロモーションは、市外からの移住促進を主とするものではなく、まず今住んでいる市民にとって市への愛着や誇りが醸成される取組を実施していくことに重点を置きます。

対象については、本市に住む、働く、学ぶをはじめとする様々な活動を行う、市民全体を考えていくこととします。

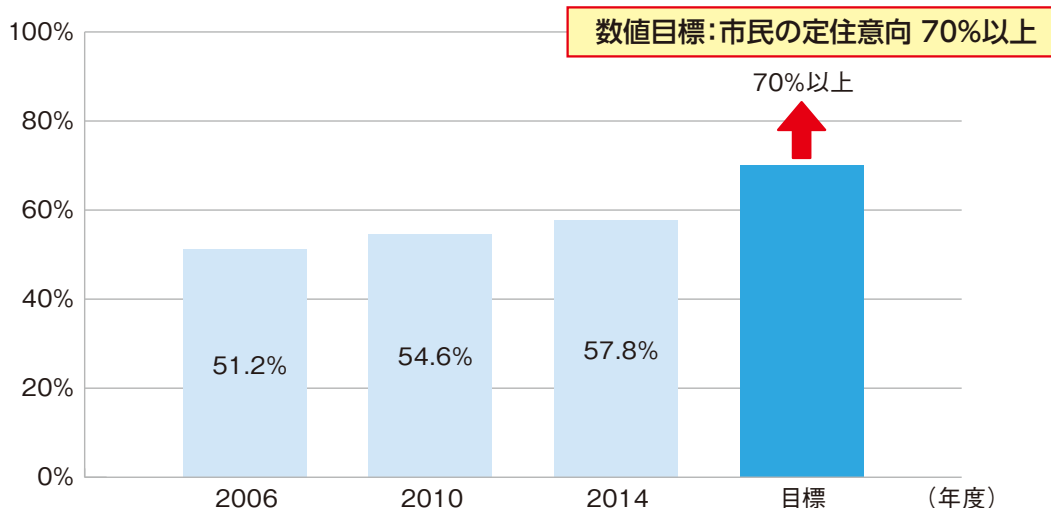
シティプロモーションの推進による本市への愛着の広がりイメージ



「定住意向70%以上」を数値目標に設定

本市が実施している市民意識調査の「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている市民の割合」である定住意向の項目を指標におくものとし、「定住意向70%以上」を数値目標に設定します。

本市の定住意向の推移



コンセプト

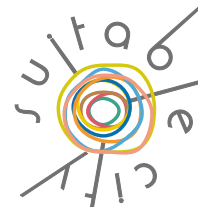
本市は、暮らしにおける多くの面で水準が高く充実していることが特徴です。本ビジョンの実現にあたって、以下のコンセプトを設定します。

キャッチフレーズ

suitable city
スイタブルシティ

「Suitable City (スイタブル シティ)」には、「～できる」といった意味の接尾辞である「able」を吹田「Suita」につなげることで「吹田で実現できる」の意味を持たせるとともに、「ふさわしい、ぴったりの」などの意味を持つ語「suitable」と重ね、「暮らすにはぴったりなまち」の意味を持つ造語としています。
それぞれが持つ志向に応じた豊かな暮らしを実現し、市民にとって愛着や誇りが持てるまちを目指します。

ロゴ



“Suitable City”の文字が円を描きひとつになり、内から外へ伸びていく様子と、洗練されつつも親しみのある吹田の良さを、文字と手描きラインで表現しています。

本市が持つ多くの魅力が重なり合って、花開き、太陽のように未来を照らすといった明るいまちのイメージも演出しています。



- ・みどりの豊かさや交通の利便性をはじめとした良質な住環境がある
- ・景観に配慮されたまちの環境がある



- ・子どもがスポーツや文化、学びの場など、様々な体験や学習ができる
- ・多様な世代が関わる機会があり、地域で子どもを育てる環境がある



- ・誰もが安心して安全に暮らせる
- ・ゆったりとした時間を過ごすことのできる場所がある



- ・健やかでこころ豊かに暮らせる健康・医療のまち
- ・市民を中心にまちぐるみで循環器病を防ぎ、元気で長生き!



- ・大学や図書館をはじめとする地域資源を生かした様々な学びの場がある
- ・歴史や文化を学び、体験できる



- ・子育て世代が働きやすい環境がある
- ・就職に関する支援が充実している



- ・地域活動や行事などが活発に行われている
- ・趣味に関する作品展や活動発表などの場がある



- ・家族や友人と楽しい時間を過ごすことができる
- ・趣味など自分の時間を楽しむ



- ・地域コミュニティの活動などを通じた、多世代が交流できる場がある
- ・共通の趣味を持つ人が集まる場がある

コンセプト実現に向けた取組方針

方針

1

強みを伸ばす取組の実施

本市には既に強みといえる様々な魅力が存在します。これらの強みをさらに伸ばす取組を実施することで、より高質な暮らしの実現を目指します。

方針

2

多様な連携による新たな魅力の創造

様々な主体による多様な連携を促進し、それぞれが持つ魅力を組み合わせることで、新たな魅力の創造が可能です。新たな魅力の創造により、市への愛着を持つ市民の増加につなげていきます。

方針

3

市民から魅力が広がる仕掛けづくり

これまで知らなかった本市の魅力に触れたり、当たり前と思いがちな部分が実は当たり前ではないといった、市民にとっての「気づき」の機会を増やす取組を実施し、市民から本市の魅力が市内外に広がる仕掛けづくりを図ります。

今後に向けて

今後は、本ビジョンに基づき、様々な取組を実施していくにあたり、9つの要素全てをグレードアップしていくことを目指します。

目標とする要素のグレードアップイメージ

〈例えば現在は…〉



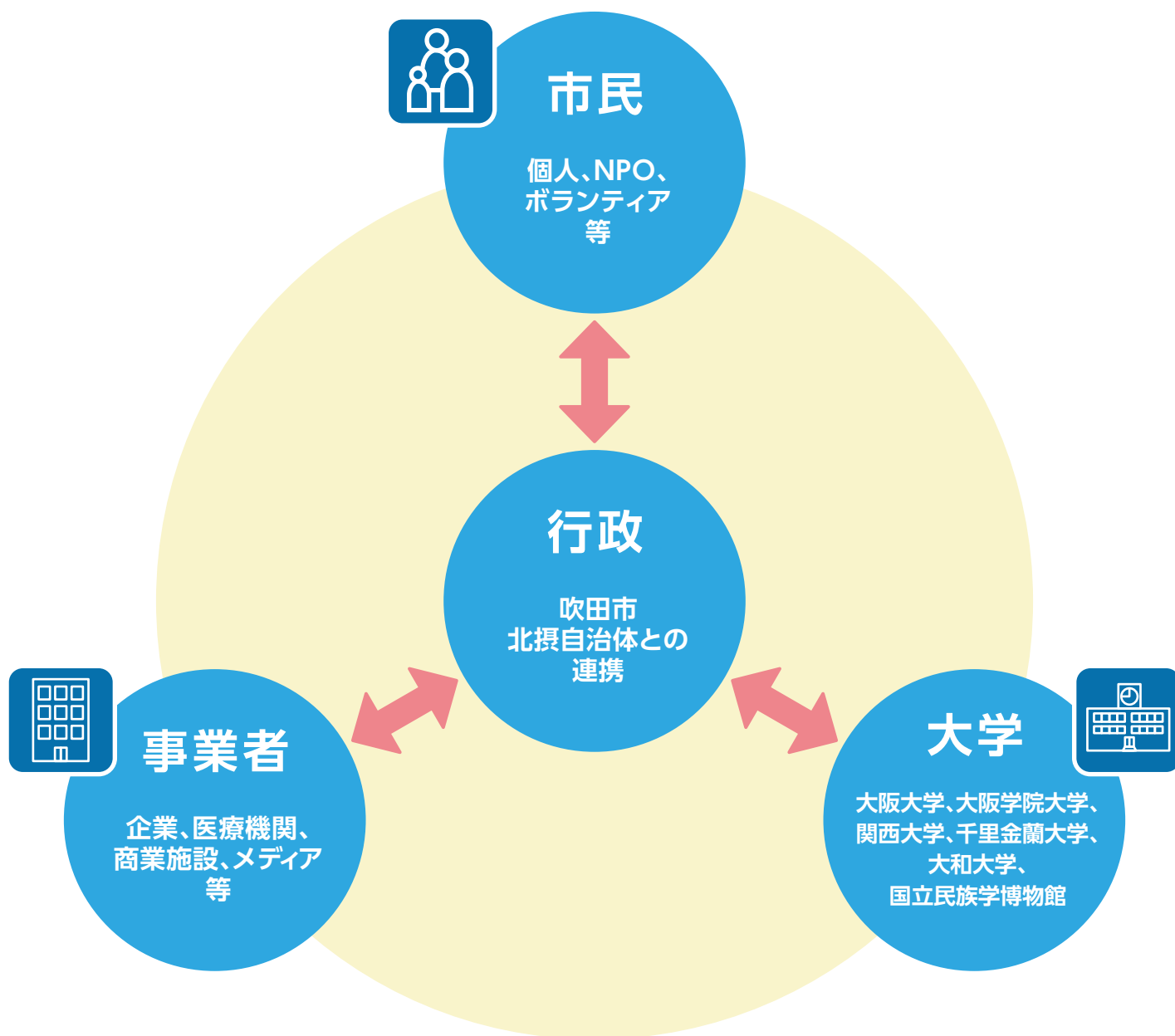
〈将来は…〉



体制の構築

シティプロモーションは行政だけで推進できるものではありません。市民や事業者、大学をはじめとする様々な主体との連携が重要であり、北摂エリアの自治体間の連携強化も図っていきます。

また、外部有識者で構成される「(仮称)吹田市シティプロモーションアドバイザー会議」を組織し、本ビジョンの推進に関して様々な立場から幅広く意見を伺うとともに、行政内部に「(仮称)吹田市シティプロモーション推進本部」を組織し、今後策定を予定しているアクションプランによる進捗管理を実施します。



吹田市シティプロモーションビジョン<概要版>

平成29年(2017年)3月

吹田市 都市魅力部 シティプロモーション推進室

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL:06-6318-6371 FAX:06-6384-1292 E-mail:city-pro@city.suita.osaka.jp HP:http://www.city.suita.osaka.jp/